



2019年11月8日

各 位

会社名 第一精工株式会社
 代表者名 代表取締役社長 土山 隆治
 (コード番号 6640 東証第一部)
 問合せ先
 役職・氏名 常務取締役管理本部長兼財務統括部長 田 籠 康利
 電 話 075-611-7155

特別利益の計上並びに通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年12月期第3四半期連結累計期間の決算におきまして、特別利益の計上並びに、2019年8月8日に公表いたしました通期連結業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

2019年6月27日に、当社の前代表取締役社長であった小西英樹氏が逝去したことに對して、保険会社からの保険金の給付が確定いたしました。これにより、受取役員保険金として496百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	53,400	550	750	200	11.96
今回修正予想 (B)	53,580	1,450	1,220	900	53.82
増減額 (B - A)	180	900	470	700	
増減率 (%)	0.3	163.6	62.7	350.0	
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	52,674	719	660	△1,882	△112.58

(2) 修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績は、電気・電子部品事業において主要製品であるパソコン向け細線同軸コネクタや基板対基板コネクタを中心に第3四半期以降の受注の回復傾向が顕著となり、部品需要が増加したことから、売上高の増加にともない各段階利益も増加しました。

さらに親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記要因に加え、特別利益を496百万円計上し、前回予想を上回る結果となりました。

このような内容を踏まえ、通期の連結業績予想につきましては、第3四半期までの業績動向に加え、今後の経済情勢、顧客及び市場動向等を総合的に勘案しました結果、売上高及び各段階利益ともに前回予想を上回る見通しとなり、上記のとおり修正いたしました。

3. 期末配当予想の修正について

(1) 2019年12月期 期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (2019年8月8日発表)		15.00	20.00
今回修正予想		20.00	25.00
当 期 実 績	5.00		
前 期 実 績 (2018年12月期)	5.00	15.00	20.00

(2) 修正の理由

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、積極的な株主還元を実現するため業績連動を考慮した配当を実施していくことを利益配分の基本方針としております。

2019年12月期の期末配当金につきましては、上記の基本方針を踏まえ、今後の経営環境及び業績見通しを総合的に勘案しました結果、前回予想より5円増配の1株当たり20円に修正いたします。

これにより、中間配当金と合わせた年間の配当予想は、1株当たり25円となります。

(注) 上記の業績予想および配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上